横浜天声キリスト教会　週報　第 17 巻 10 号（No.630）　2022 年 3 月 6 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　創世記 17:1b ･････　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　･････････････････ 21番　力の主を
*交読文　･････････････････9番
*使徒信条　･････････････会衆一同
*頌栄　･････････････････ 177番　御霊よ、降りて
礼拝のための祈り　･････ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式　･････････････････ 281番　しみもとがも
メッセージ　･････････････ アブラハムの7つの祝福を受けるためには(創世記 12:1-3)
御言葉を適用する祈り　･･ 会衆一同
賛美　･････････････････　456番　主とともにあゆむ
幸せと成功の宣言文 ････　会衆一同
献金感謝の祈り　･････････ パスター
報告　･････････････････
*主の祈り　･････････････ 会衆一同
*祝祷　･････････････････ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

主は____の牧者であって、____には乏しいことがない。主は____を緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主は____の魂をいきかえらせ、み名のために____を正しい道に導かれる。たとい____は死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたが____と共におられるからです。あなたのむちと、あなたのつえは____を慰めます。あなたは____の敵の前で、____の前に宴を設け、____のこうべに油をそそがれる。____の杯はあふれます。____の生きているかぎりは／必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。____はとこしえに主の宮に住むでしょう。（詩篇 23 篇）

____がすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。____はすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。（ピリピ 3:12−14）

メッセージ概要

3 月となった。今月のカレンダー聖句は、創世記 12:2-3 である。そこには、主が私達の信仰の父・アブラハムに約束された7つの祝福が記されている。私達もアブラハムに習うなら、その祝福を受け継ぐ事ができる。その祝福とは、どんな祝福で、どうしたらその膨大な祝福を受けられるのか、その条件を見てみたい。

アブラハムに与えられた、7つの素晴らしい祝福を受ける条件は、1 節の「レフ・レハー לְךָ־לְךָ」である。「レフ」は「ハーラフ הָלַךְ」の命令形で、ハーラフには「行く、来る、歩む」など色々な意味がある。その次の「レハー」は、多くの訳では訳出されていないが、「あなたのために」という重要な意味がある。つまり「レフ・レハー」は、「あなたのために行け・来い・歩め」である。神様の「行け」という命令は、結局、私達のためだ。もし神様が「行け」と言っているのに、行かないなら、それは私達のためにはならず、滅びに至ってしまう。そして祝福を受ける条件は、**「出て行くレフ・レハー」が3種類、「目指して行くレフ・レハー」が、1種類**ある。出て行くべき3つとは、「エレツ（**地,土地,国**）」、「モレデット（**出生地,親族,同族**）」、「ベイト・アビィカー（**父の家,先祖の家、生まれながらの所**）」である。 アブラハムが生まれ育ったカルデヤのウルは、バベルの近くの偶像崇拝が盛んな町で、ヨシュアは次にように言っていた。『*あなた方の先祖達、すなわちアブラハムの父、ナホルの父テラは、昔、ユフラテ川の向こうに住み、皆、他の神々に仕えていた*』(ヨシュア記 24:2)

私達も、自分が生まれ育った国や、親族、先祖伝来の風習で、主に嫌われる性質があるなら、そこから「出る」べきである。今までの、主を知らずに生きて来た生き方で身についてしまった主に忌み嫌われる性質から、あなたのために「出て行き」、主の元に「来て」、主と共に「歩め」、それが、祝福の前提条件である。

次に、目指して行くべき一つの「レフ・レハー」とは、**主が見させ、解らせ、理解させ続ける（ラアーの未完了態）、「あの地」**(1 節後半)、と主は言われる。それは、地上のどこか特定の場所ではない。主が見させてくださる地、「ここがそれだ」と、私達に理解させて下さる地である。事実アブラハムは、どこかの場所に定住するという人生は送らず、ある時はヘブロンに、ある時はベエル・シェバに宿り、いずれも、主が「ここがそれだ」と理解させて下さった地に、天幕を張った。私達も同じである。主が「ここだ」と言っておられるのが、私達に「わかる」その場所が「そこ」なのであり、その「場所」とは、その時々で、変わる。そこの場所がどこかは、重要ではない。私達にはただ、神様と共に「ハーラフ（行く、来る、歩む）」する事こそ、重要なのだ。

このように「レフ・レハー」するなら、主から与えられる7つの祝福が 2-3 節にある。その動詞には強意・能動態（ピエル態）がふんだんに使われており、詳訳すると、次のようになる。 ①あなたを、人々の前で、大いなる・重要な・際立った人に、し続ける(未完了継続)。 ここの「人々」と訳された語「ゴイ」は、人々やイナゴなどの「群れ」を意味する。アブラハムの祝福の条件を満たす人は、人々の間で、際立った、重要な人となり、周囲の人々は、単なる「群れ」のようになるのだ。 ②わたしはあなたを、断じて祝福する！(ピエル態) ③わたしはあなたの名を、断じて大いなる者とする！(同) ④あなたの名は、祝福となれ！(命令形) ⑤わたしは「あなたを断じて祝福し続ける人」を、わたしも断じて祝福する！ ⑥「あなたを断じて軽んじ呪い続ける者」を、わたしも呪い続ける！ ⑦地上の全てのやからは、あなたによって祝福された（受動・完了）。

以上のような、素晴らしい祝福を受ける条件が、3種類の「出て行くレフ・レハー」と、1種類の「目指して行くレフ・レハー」だった。この、**主と共に「歩む（ハーラフ）」事こそ、神の民の必須条件**であり、祝福に不可欠な性質である。エノクとノアは、「神と共に歩んだ(ハーラフ)」と記されており(創世記 5:22-24, 6:9)、ダビデも、主と共に歩んでいるなら、そこがたとえ、死の影の谷であっても、そこには慰めがあり、敵の前で宴を設けられ、杯は溢れ、恵みといつくしみが、追いかけて来る、と告白した。(詩篇 23 編)

アブラムに、祝福の名「アブラハム」が与えられた時、主は「ハーラフ」を命じられた。「*わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に「歩み（ハーラフ）」、全き者であれ。*」(創世記 17:1) ここの「歩み」はヒットパエル態、すなわち、**自ら主体的・自覚的・自発的に、主とともに歩みなさい、それが「全き者」の条件**である。

自分から主体的・自発的に、主の忌み嫌われる所から出て行き、主の「行け」と言われる所へ行き、そこで主と共に歩み、全き者となって、アブラハムに与えられた7つの祝福を得ていく私達でありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:00
食事・フェローシップ	13:00～
English Service	14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 17 巻 10 号　　2022 年 3 月 6 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp